



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2026 年 3 月 17 日



体験支援 現場レポート

当財団では 2025 年 9 月から、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にした「体験の機会の場の提供」を開始いたしました。周りの環境によって子どもが得られる体験に格差が生じる体験格差。学校外での体験をほとんどできていない子どもも存在し、体験の有無が、子ども達の将来に私たちが想像する以上に深刻な影響を与えているのかもしれません。日常とは違う体験が、子ども達に自信や可能性を感じる機会となり、様々な体験活動を通して、生きていく上で重要な内面的な能力を育むことができるきっかけになるような、子ども達がワクワクするような体験提供を支援してまいります。

ヤオコー熊谷物流センターでの体験提供 3 月 15 日

温度帯の異なるチルド棟の見学（冷えます🧊）



箱と同じ番号の棚へ仕分け体験





公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

ミッションクリアでシールがもらえます



フォークリフトのクラクションを鳴らすのが楽しくて



教えてもらっている内容を真剣にメモ中



ピッキング体験。リストにある商品がどこか・・・



3月15日、熊谷物流センターにて、親子体験イベント「熊谷物流センター探検」を開催しました。北本の子ども食堂、深谷のフードパントリーを利用する親子など計29名が参加し、物流センターの見学や作業体験を行いました。冷蔵庫・冷凍庫体験やソーターライン見学のほか、トラックの運転席やフォークリフトの座席に座る体験など、普段なかなか見ることのできない物流の現場に子どもたちは大興奮。午後には、棚番号やJANコードを見ながら商品を探すピッキング体験にも挑戦し、真剣な表情で取り組む姿が印象的でした。参加した子どもたちからは「検品、もう一回やりたい!」「また来たい!」といった声も聞かれ、物流の仕事や食べ物が届く仕組みを楽しく学ぶ一日となりました。本企画はヤオコー ロジスティクス推進部、アサヒロジスティクス株式会社様、国分関信越株式会社様のご協力により実施しました。心より御礼申し上げます。